

おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

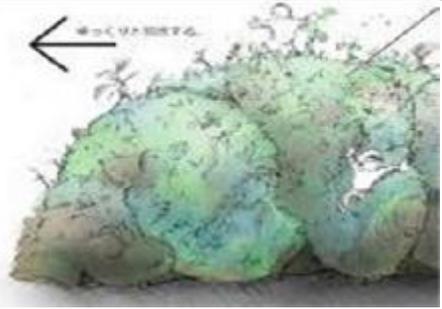
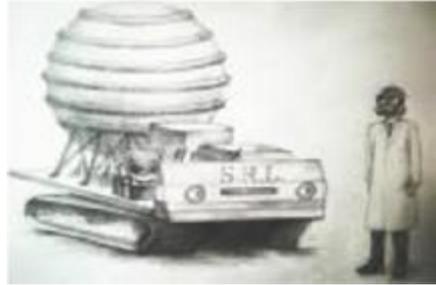
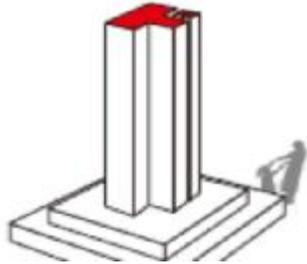
番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
1	テレ金	金魚部	中之島
	<p>公衆電話ボックスを巨大な水槽に改造し、無数の金魚を遊泳させる作品。金魚すくいや餌用として大量に生産・消費される金魚のあり方を再考し、伝統文化として培われてきた金魚の美を改めて見直し、美しい日本の文化として新たに開花させることを目指す。</p>		
2	銀河鉄道たちばな	橘 宣行	中之島
	<p>機関車をモチーフにした鋼鉄製のオブジェ。作者が子供の頃に見たアニメに影響を受け、具現化した。ハンドルを回転させるとヘッドライトが点灯するなど、実際に乗って触って遊べる作品。「けったいなもん」が生まれる大阪を象徴した、と作者は語る。</p>		
3	a girl and a boy with BOARD GAME in NAKANOSHIMA	関西大学環境都市工学部 建築学科都市設計研究室	中之島
	<p>公園内にオセロや将棋などボードゲームを設置。ボードゲームは黒板状になっており、備え付けのチョークで点数を記録したり、絵を描いたり、思い思いの楽しみ方ができる。ベンチや芝生だけではなく魅力が加わった公園で、従来とは違う公共空間の新しい楽しみ方を提案する。</p>		
4	ピクノポリス水都大阪	太田 浩史	中之島
	<p>移動型の芝生を中之島周辺に出張させ、緑の少ない場所でピクニックを楽しんだり、ピクニックの魅力を伝えるワークショップやピクニック・コンテストを開催するなど、社交としてのピクニックの多様な楽しみ方を提案することによって、都市における人と人、人と都市の交流を活性化するプロジェクト。</p>		
5	umbra	矢津吉隆×大喜多智裕	中之島
	<p>3D立体映像を夜の中の島で放映。”自然”の持つ力をテーマにした映像作品を野外上映することによって、体感的鑑賞の機会を提供する。</p>		

※ 作品や展示場所はすべて予定であり、今後変更される場合があります。

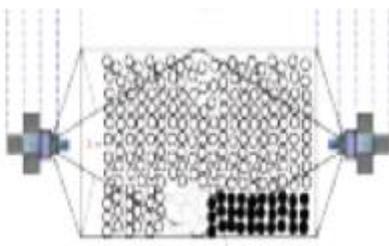
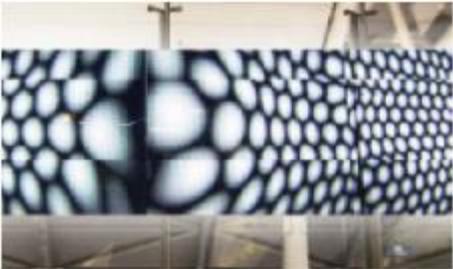
おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
6	等身大の自画像プロジェクト	アトリエズガ ワーク ショップ部門	中之島
	鏡を見ながら等身大の自画像を画仙紙に描くワークショップ。鏡の中の自分を見つめ、太い筆と墨で描くという慣れない行為を通して、忘れていた感覚や非日常的な時間を体験しようというもの。誰でも自由に参加でき、完成した作品は、ワークショップ期間中展示する。		
7	アジアン・アーツ・クロッシング・プロジェクト	船場アートカフェ	中之島、北浜テラスなど
	水都大阪フェス2011会場や御堂筋界隈、北浜テラスの店舗等にてタイやモンゴルなどアジア音楽のミニライブを開催。公開空地など、ただ通りすぎるだけの都市のオープンスペースを、日常的に人々が賑わい、新しい魅力溢れる都市空間として活用・定着させることを目指す。大阪市立大学が中心となり、官・民・学共同で推進する。		
8	トラベル(仮題)	横山 裕一	中之島
	なにわ橋駅の空間に“ネオ漫画”として評価の高い横山裕一の代表作『トラベル』の一部を拡大して屋外展示。中之島バンクスの会場で原画も展示する。漫画、アート、デザインといった領域を軽々と超える横山作品の魅力を多様に伝える取り組み。この秋に開催される「鉄道芸術祭／西野トラベラーズ」(アートエリアB1主催)とのコラボイベント。		
9	CONE AND THE CITY PROJECT	CONE AND THE CITY PROJECT	中之島、大阪府庁など
	大阪を代表する様々な空間を、数千個の赤い工事用コーンで一瞬のうちに埋め尽くすプロジェクト。規制や権力の象徴でありながら、無造作に置かれたり、目障りな異物として扱われたり、皮肉な存在と化してしまったコーン。そのコーンを過剰なまでに増殖させ、大阪の名所を占拠することによって、見慣れた都市の風景について再考を促すことを意図している。		
10	伊藤キム×山川冬樹 in OSAKA 「中之島劇場(仮題)」	伊藤 キム/山川 冬樹	中之島
	独自の作品世界や、唯一無二の表現性によって高い評価を受けている世界的に著名なパフォーマーの二人が、オリジナル作品を制作、発表。この秋に開催される「鉄道芸術祭／西野トラベラーズ」(アートエリアB1主催)とのコラボイベント。[12月実施予定]		

※ 作品や展示場所はすべて予定であり、今後変更される場合があります。

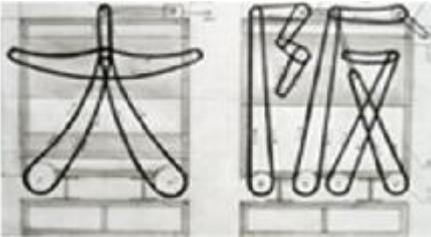
番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
11	「AIR ARCH」 with「AIR SPIRITS」	R+気流部	服部緑地など府内の公園
	都市公園を通じた地域の連携や、公園同士のつながりを目的に、地域の人々を巻き込んだ様々なワークショップやイベント、インスタレーションを展開。のぼり旗やバルーンを活用した街歩きイベントや、公園管理者も巻き込んだタウンミーティングを開催するなど、公園のあり方を問い直し、新しい使いこなし方も提案していく。		
12	Out Of the Marcy (OOM)	足立 喜一郎	服部緑地
	全身に植物をまとった巨大な芋虫型ロボットが、公園を徘徊。飼いならされた擬似生命体に対し、子供たち、そして大人たちは歓迎するのか、嫌悪するのか？人工的に作られた公園の中をうごめく人工生命体に、作者は近未来的なイメージを重ねている。人と自然との関係について問いかける作品。		
13	簾想一簾の中で巡る想いー	nam i 7	服部緑地など府内の公園
	簾(すだれ)をねじって立体的に展示し、流線形の美を表現。風と陽射しを多様に取りこむ形状によって、幻想的な風景を作り出す。連続する簾が生み出す空間が人々を柔らかく包み込み、風を可視化させ、夕日を美しく魅せるなど、誰も体験したことのない世界で参加者を楽しませることに取り組む。		
14	THE CLOUD TANK PROJECT	S.R.L(Survival Revival Laboratory)	服部緑地など府内の公園
	キャタピラー車にタンクを積みこみ、放射能防御に効果があると言われる乳酸菌を噴霧するパフォーマンスを行う。世界初の原子爆弾の形をモチーフにするなど、核に対する批評的意味も込められており、際限のない人間の欲望と戦う戦車(タンク)として発想されている。		
15	ドの塔	高橋 喜代史	咲洲コスモスクエア地区
	カタカナの「ド」の字をモチーフに、高さ約5mの塔状に表現した立体作品。「ド迫力」「ド真ん中」「ドえらい」「ドでかい」など、「ド」が持つ、天にも突き上げるような勢いと直線的なイメージが大阪にぴったり、と着想された。		

おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
16	巨大無限プチプチ	大平 剛&大阪電気通信大学高見研究室	咲洲コスモスクエア地区
	梱包材の「プチプチ(気泡緩衝シート)」を映像で床に投影。その上を歩くと「プチ、プチ」とまるで踏み潰しているような音が聞こえる体感型作品。ストレス無しでは語れない世の中に、ユーモアと癒しの場を提供し、ふと立ち止まって肩の力を抜いてもらおう、という願いが込められている。		
17	ぬえのしっぽ	山本 麻世	咲洲コスモスクエア地区
	平安時代、夜な夜な出没して人々を恐れさせたという怪物「ぬえ」を現代によみがえらせた作品。伝説によると、退治されたぬえは大阪に漂着したとされている。工事現場等で使われる危険を警告するビニールテープを大きな筒状に編み、「ぬえ」の尻尾を表現。極めて現代的な資材を神話の世界の生き物に変換させ、大阪の風景に潜ませる。		
18	Bench = Benki	Sakishima High School Art Mania	咲洲コスモスクエア地区
	咲洲コスモスクエア地区に忽然と現れた色とりどりの洋式便器。美術を愛する高校生たちが、「べんき=ベンチ」という単純な発想から出発。彼らが大好きな美しい咲洲の風景の中で、腰掛ける人同士のリラックスしたコミュニケーションを楽しんでもらおうと取り組む。		
19	Drops of Light	oxoxo [ゼロバイゼロ]	咲洲コスモスクエア地区
	無数に穴をうがった塩ビシートを重ね合わせ、モワレ模様(干渉縞)を発生させる作品。鑑賞者が歩くにつれて、見える模様が様々に変化。自然界の光の動きを再現することによって、光の繊細な美しさと多様なあり方を改めて伝えることを目指している。		
20	飛龍	三橋 玄	咲洲コスモスクエア地区
	竹で制作された巨大な龍のオブジェが咲洲コスモスクエア地区の空間に飛翔。放置竹林の整備の際に出るゴミとしての竹を素材に作られる作品は、失われつつある加工技術の保存にも目を向け、竹を巡る文化と自然の豊かさをより多くの人に伝えようとする。天地を駆ける龍の生命力が、竹の持つしなやかさ、躍動感に託されている。		

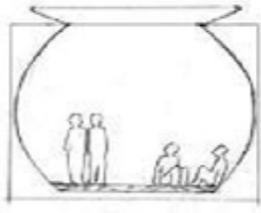
※ 作品や展示場所はすべて予定であり、今後変更される場合があります。

おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

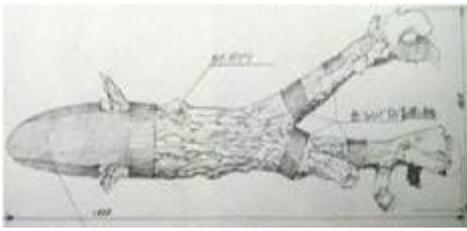
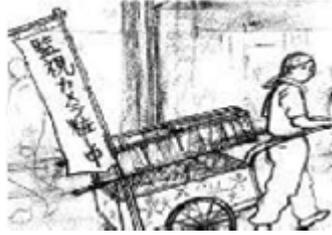
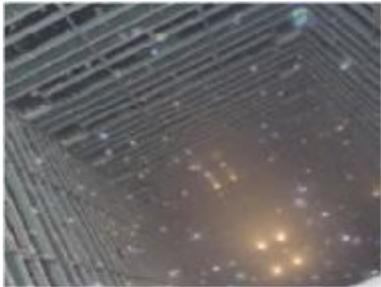
番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
21	大阪マシーン	タムラサトル	大阪府庁
	動き続けるチェーンや歯車を使って、「大阪」の文字を表現。大阪人が大阪に対して持つプライドや愛情を堂々と表現するとともに、「町工場が支える」ものづくり大阪への敬意も込められている。さらに、動き続けているのに何も仕事をしない機械のばかばかしさが、大阪特有の「笑い」の文化の真髄をも伝えようとする。		
22	ビリケン物語 ～通天閣純情編～	TMゼミ	通天閣
	通天閣展望台の窓一面に、ビリケンが主人公の冒険コメディ・マンガを展開。太陽の塔や食い倒れ人形なども登場、背景の実風景ともコラボレーションさせる「現代の屏風絵」を目指す。著名なマンガ編集者に率いられた学生や卒業生たちが、マンガ表現の新たな可能性に挑む。		
23	ミライカメラ	ミライカメラ	新世界付近
	透明の板がはめ込まれた写真フレームを通して見える街の景色に、参加者が未来の街を想像して絵を重ねていくワークショップ。フレームの向こうの景色と合わさってどのような作品が生まれるか、そこには十人十色の未来が描かれる。来年、100周年を迎える通天閣をめぐる、みんなでさらに100年後を思い描き、共有しようというプロジェクト。		
24	パレットトラベル	ツムテンカク実行委員会	新世界付近
	輸送用のパレットを組み合わせ、巨大迷路を作る作品。通天閣建設から100周年を迎える新世界エリアをこれまでどれくらいの人が行き交ってきただろう。観光客や地元の子供たちなど、様々な人を迷路にいざない、多様な交流を生み出すことによって、地域のさらなる発展を応援しようと取り組む。		
25	怒れる巨大なオヤジ	株式会社 人間	府内の公園等
	地面を突き破って突如出現した巨大な禿頭。その正体は、つい誰もが怒ってしまうストレスいっぱいの現代にあって、みんなの「怒り」を吸収してくれる「怒りの救世主」。ツイッターを通して彼に相談すれば、「情熱的な」オヤジが代わりに怒ってくれる。双方向型の作品で、あなたの怒りを爆発させよう。		

※ 作品や展示場所はすべて予定であり、今後変更される場合があります。

おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
26	カケラ PROJECT	NPO法人Co.to.hana	大阪市住之江区木津川防潮堤
	近代化産業遺産に指定された造船所跡地に隣接する防潮堤に、地域の人々と一緒にパズルピースのようにつながったウォールペインティングを描くプロジェクト。地域の歴史性や防災の視点も取りこみながら、まちと人の思いをパズルのようにアートでつないでいくことを目指す。住之江区との共同プロジェクト。		
27	橋(仮題)	後藤 靖香	大阪市住之江区(名村造船所跡地)
	橋を設計する会社が製図室として利用し、今も実寸大の橋の設計図が床に書きこまれたまま残されている巨大な空間に、当時そこで働いていた人々をテーマにした平面作品の新作を展示。日々の葛藤を抱えながらも、誠実に労働する人の中に愛おしさや深い尊敬の念を抱く作者が、大阪の歴史と、それを築いてきた人々の魅力を再発見しようと取り組む。		
28	空の器	5020	大阪市住之江区
	中に人が入ることのできる器のような空間を、長屋の建ち並ぶ界隈に突然出現させる作品。茶室をイメージした空間は、中にいる人が空を見つめ、また空からも見つめられるような時空を提供する。空がどこまでも繋がっていることに強い感覚を覚える作者が、“空の美味しい味わい方”を探してみたいと取り組む。		
29	セルフ屋敷	コタケマン(小竹英司)	大阪市住之江区
	作者はこれまで、生まれ育った実家を5年間かけて不思議なオブジェや装飾物で溢れかえる不思議な空間へと改装してきた。今回はその総仕上げを行い、初めて一般公開するとともに、交流を持つ様々な分野のクリエイターたちによるパフォーマンスを繰り広げ、大阪ならではの魅力を発信しようと試みる。		
30	明るい/暗い 大阪発、新しい住居の提案	佐藤 隼	府内の集合住宅
	集合住宅の1室を蓄光塗料で塗装し、電気がなくとも明るく発光する空間を創りあげることによって、震災以降、喫緊の課題となった電力の問題について、美術の力で問うことを提案する。期間中は住民や来場者とワークショップを行い、ともに考えを深める機会とする。		

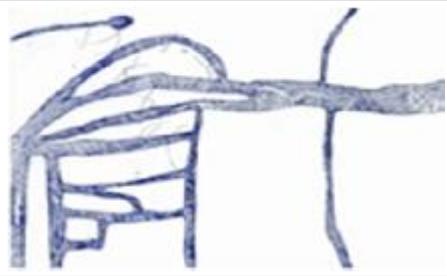
おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
31	空間収集 ー大阪、日本ー	佐藤 隼	府内の公園等
	昆虫の死骸を何千頭も収集することによって、身近な”死”について考えてきた作者。震災の際にも、おそらく真っ先に死んでしまったであろう彼らに思いを馳せ、そのはかなく綺麗な姿を通し、生と死について今一度考え、生き物の多様性についてもともに考えていく機会にしたいと希望している。		
32	きのむかうところ	伊原 セイチ	住之江公園
	公園にある高さ12mのポプラの巨木が危険木として切り倒されるのを機会に、再利用する作品。長い時間生きてきた巨木の生命力に勇気を与えられ、生きる方向を示されたと感じる作者は、根から丁寧に掘り起こして横たえさせ、作品として設置することによって、木の命を鎮魂し、これから公園を訪れる人々の癒しの場にしたいと希望している。		
33	カンシカメラメカシ (監視カメラ粧し)(仮題)	飯島 浩二	府内の商業施設等
	街中に設置されている監視カメラを、玩具や造花などで装飾し、目立たせる行為を一連のパフォーマンスとして展開する。犯罪の抑止効果が謳われる一方、プライバシーの侵害も指摘される監視カメラ。都市空間において、パブリック(公共)とは何か？個人の自由の範囲とは？について問題提起を試みる。		
34	よみがえれ日本	MOT8 Design Studio	府内の道路擁壁・地下道等
	いたづら書きが多く発生する道路擁壁や地下道にカラフルでコミカルなウォールペインティングを描き、明るい気持ちになる空間、子供たちが希望を抱ける空間へと変容させる。長らくイタリア等を中心にストリート・アートで活躍してきた作者は、今度は日本で、人は皆ひとりじゃないというメッセージを伝えたいと意気込む。		
35	霧はれて光きたる春	ハナムラ チカヒロ	府内の病院
	不安な気持ちで何週間も病棟の中で過ごさねばならない入院患者に向け、一瞬でも病を忘れる事のできるような風景を、霧とシャボン玉で出現させるプロジェクト。圧倒的な現象に立ち会うことで、医師、看護師、患者といった関係性とは異なる、新しいコミュニケーションが生まれ、そこから何かが立ち上がることを願って開催される。		

おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
36	TOMMOTRAVEL 『私のバスはどこですか?』	TOMMOTRAVEL	府内各地を巡回
	観光バスに積み残されたという設定のバスガイドに扮した作者が、カンヴァスの作品展示場所や、大阪の魅力ある場所を次々と訪れ、多くの人を巻き込み、つないでいこうというプロジェクト。「大阪の魅力は人や!みんな最高!」と明るく語る作者が、多様な人がつながり、ひとつになる楽しさを体当たりで実現していく。		
37	突撃熊五郎一家	大西 治・大西 雅子	府内各地を巡回
	里山から町におりてきたという設定の熊の一家が軽トラックに乗って府内各地を巡回。時々止まっては、各地で記念撮影。周囲の人巻き込んで写真を撮ったり、その様子をインターネットで中継したり。人の”笑顔”をテーマに、出会いを求めて旅するプロジェクト。		
38	水の旅人	石田 真吾	木津川ウォールペイント
	【作品テーマ】 過去と未来の町並みが混在する「水の都・大阪」の町を、ゆったりと心ゆくまで堪能する「船旅」を表現。		
39	おいしい街(おおさか)	Sakishima High School Art Mania	木津川ウォールペイント
	【作品テーマ】 にぎやかで明るい人がいっぱいのおおさかは、たくさん出会いがあり、誰もが楽しめる町。そして何よりも誇れるのが、おいしい食べ物。そんな素敵な大阪を表現。		
40	五色雲に散蓮	袖岡 千佳	木津川ウォールペイント
	【作品テーマ】 水から生まれる雲をモチーフに、伝統的な雲の図像を水辺に描くことによって、先人たちが思い描いた極楽浄土のような場を生み出し、現代を生きる私たちに安らぎを与えるものとなることを希望している。		

おおさかカンヴァス推進事業2011 展示・発表(予定)作品

番号	作品名	作者	展示(予定)場所
	作品テーマ・作品概要・コンセプト等		作品イメージ図 (※画像はすべて参考イメージです)
41	川で川を描く大阪の自画像	蓮沼 昌宏	木津川ウォールペイント
	<p>【作品テーマ】 大阪の過去、現在、未来の水路をテーマに、水都として大阪を表現。水を通した大阪の自画像を描く。</p>		
42	四神	菩須彦団	木津川ウォールペイント
	<p>【作品テーマ】 国土の四方位を守る神であり、また、季節神の象徴としても存在する四神をテーマに、見えざる神々に護られた河川を表現する。</p>		
43	おおさかDNA	西野 達	府内の公園等
	<p>ベルリンを拠点に活動し、世界的に評価されている作者が、大阪が生み出した家電製品やカップラーメンなど、大阪の歴史を作ってきたモノたちに焦点を当て、それらを大型クレーンを使って数十メートルの高さから吊り下げて展示するプロジェクトに挑む。</p> <p>[平成22年度実施延期作品]</p>		

※ 作品や展示場所はすべて予定であり、今後変更される場合があります。